

CPCNEWS No.346

あすへ 11月号

昨日よりも今日 今日よりも明日

2025年度経営品質実践セミナー（第2回） 戦略的な思考とは ～戦略の意思決定と戦術の選択～

10月8日(水)、明治大学専門職大学院会計専門職研究科 専任教授 吉村 孝司氏を講師にお招きし、経営品質実践セミナー（第2回）を開催しました。内容の一部をご紹介します。

1. 戦略と戦術

経営戦略とは、①企業の将来の方向性に一定の指針を与える構想②企業と環境とのかかわり方に関するもの③企業における意思決定の指針としての役割を果たすものであり、環境適応のパターン（企業と環境のかかわり方）を将来試行的に示す構想（ビジョン）であると同時に、企業内の人々の意思決定の指針（ガイドライン）となるものであると捉えることができる。

環境適応のパターンに関していえば、現代の企業を取り巻く経営環境は目まぐるしいスピードで変化しており、昨日まで売れていたものが今日になったら全く売れないこともあるし、5年前に売っていたがしばらくパッとしなかったものが最近また売れるようになるということもある。

「経営戦略」というが戦略だけでは不十分で、良き戦略を策定してそれを実行に移していく戦略的経営を行っていくためには戦術という考えが必要となってくる。戦略と戦術がうまく組み合わさって初めて戦略的な対応が可能になる。

戦略の本質とは

- ①業務活動にあり、ライバルとは異なる活動方法あるいは異なる活動を選択すること
- ②競争方法のトレードオフを行うことであり、戦略の本質は“やるべきではないことを選択すること”である
- ③企業の業務活動にフィット（fit:整合性）を創り出すこと
- ④「何をするかという選択」以上に「何をしないかという選択」が重要である

〈マイケル・ポーター〉

<次頁につづく>

今月のラインナップ

TOPIC 1

2025年度第2回
経営品質実践セミナーを開催

TOPIC 2

新入社員フォローアップセミナー
を開催
～入社半年の節目にステップアップ～

伝言板

今後のセミナー情報